

「高度な最新医療を安全に提供する」を理念として、患者様一人ひとりに寄り添い、最適な医療を提供できるよう日々診療に取り組んでいます。

- 都内**随一の診療体制**: 7名の内視鏡外科学会技術認定医が在籍し、すべての手術を担当
- da Vinci Xi、hinotori™による**ロボット手術**: 胸に傷がつかない縦隔アプローチを開発
- 最新の**集学的治療**: 内視鏡治療、抗がん剤治療、免疫治療などをがん治療専門医が担当

早期がんから進行がん、鼠径ヘルニアなど良性疾患に至るまで、幅広い症例に対応しております。
どのような症例でもお気軽にご紹介ください。



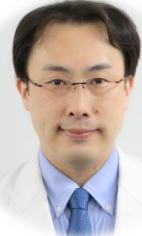
馬場 祥史 教授
食道外科専門医
内視鏡外科学会技術認定医
ロボット支援手術認定プロクター



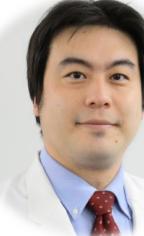
八木 浩一 准教授
食道外科専門医
内視鏡外科学会技術認定医
ロボット支援手術認定プロクター



谷島 翔 講師
食道外科専門医
内視鏡外科学会技術認定医
ロボット支援手術認定プロクター



三輪 快之 助教
消化器外科専門医
内視鏡外科学会技術認定医



大矢 周一郎 助教/医局長
消化器外科専門医
内視鏡外科学会技術認定医



岡本 麻美 助教
消化器外科専門医
消化器内視鏡専門医
肥満手術担当



東園 和哉 助教
消化器外科専門医
内視鏡外科学会技術認定医
消化器内視鏡専門医



淺岡 礼人 助教
消化器外科専門医
内視鏡外科学会技術認定医
ロボット支援手術認定プロクター



菅原 弘太郎 助教
食道外科専門医
消化器外科専門医
食道科認定医



鹿間 健志 臨床医



佐藤 靖祥 特任助教
(臨床腫瘍科 兼任)
がん薬物療法専門医

食道がん

専門医が責任をもって、術前治療、手術、術後治療を一貫して行います。

症例に応じて、縦隔アプローチ手術と右胸腔アプローチ手術を選択し、ハイレベルな手術を提供します。

①専門医による集学的治療

- 患者様一人一人にとって最適な治療を、責任を持って提供
- 最新の抗癌剤治療、放射線治療、免疫治療などを実施

②低侵襲な手術 (ロボット・胸腔鏡手術) → 症例に応じて、“縦隔アプローチ”か“右胸腔アプローチ”を選択

手術用ロボット(ダビンチ、ヒノトリ)を用いて行うことが多いですが、ロボットを用いない手術(胸腔鏡手術)も行っています。

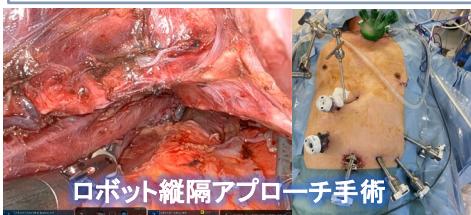
縦隔アプローチ手術 とは？

各術式のエキスパートが高度な手術を安全に提供

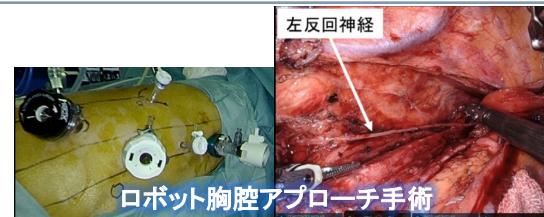
胸腔アプローチ手術 とは？

- 頸部と腹部から食道を切除する新たな手術
- 2011年にロボットを使用した手術として**当科が開発**
- 縦隔アプローチ手術の**全国における中心的役割**を担う
- 胸部に傷がなく**、術後痛みが少ない
- 肺癌術後や低肺機能の患者さんにも施行可能

- 右胸部の数か所の孔から食道を切除する手術
- 日本全国の**標準式**で、傷が小さく、痛みが少ない
- 2020年からロボット使用が保険診療として承認
- 緻密なリンパ節郭清**が可能で、反回神経麻痺が少ない
- 大きい進行癌や化学放射線治療後**にも施行可能



ロボット縦隔アプローチ手術



ロボット胸腔アプローチ手術

高齢者や多彩な併存疾患のある患者さんにも、手術に限らず、他科と連携して適切な治療を提供しています。